

介護職員等処遇改善加算の算定状況及び
処遇改善加算に関する具体的な取組み内容について

1. 加算取得状況 処遇改善加算 I

2. 賃金以外の処遇改善に関する具体的な取組み内容

職場環境要件等区分	具体的な取組み内容
入職促進に向けた取組み	法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針、その実現のための施策などの明確化
	他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築
	職業体験の受入れや地域行事への参加
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する研修、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等
	エルダー・メンター（仕事やメンタル面のサポート等をする担当者）制度導入
両立支援・多様な働き方の推進	子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指す者のための休業制度等の充実
	有給休暇の取得促進のため、情報共有や複数担当制等により、業務の属人化の解消、業務配分の偏りの解消を行っている
腰痛を含む心身の健康管理	業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談体制の充実
	事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備
生産性向上（業務改善及び働く環境改善）のための取組	現場の課題の見える化、（課題の抽出、課題の構造化、業務時間調査の実施等）を実施している
	業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減を行っている
	介護ソフト（記録、情報共有、請求業務転記が不要なもの。）、情報端末（タブレット端末）の導入
	業務内容の明確化と役割分担を行い、介護職員がケアに集中できる環境を整備。特に間接業務（食事等の準備や片付け、清掃、ベッドメイク、ゴミ捨て等）がある場合は、いわゆる介護助手等の活用など、役割の見直しやシフトの組み換え等を行う
やりがい・働きがいの醸成	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善
	ケアの好事例や、入所者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供